

Ⅲ. 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成20年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、20年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・ 3号館耐震補強・改修工事及び学生支援センター設置	698,000 千円
・ 如修塾の空調設備更新・外壁補修・屋上防水	27,220 千円
・ 岡本寮の空調・ボイラー更新他	4,330 千円
・ 体育館改修	3,160 千円
・ 西宮グラウンド防球ネットかさ上げ	3,150 千円
・ 学内防犯設備対策	8,090 千円
・ 学生メール・サーバ更新	6,860 千円
・ 実習用顕微鏡 30 台（更新2年目）	4,030 千円
・ 実習用電子天秤 54 台	1,920 千円
・ コンピュータ教育用パソコンリース	3,840 千円
・ OSCE 関係費用	3,410 千円

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では学部入学者数が 288 名と当初の想定を上回り、手数料収入・補助金収入・資産運用収入・事業収入・雑収入も見込み額を超えたことなどにより、総収入は 4,805 百万円と予算を 97 百万円上回りました。

また、支出面では退職金が見込み額を大幅に上回り、また、各種引当資金への積増し等も行いましたが、執行の見直しや経費節減に努めた結果、次年度繰越支払資金は対前年度比 127 百万円減の 921 百万円となったが、前受金収入 437 百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 消費収支計算書（総括表）

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金組入額を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は 231 百万円の支出超過となり、前年度からの収入超過額 1,590 百万円が減少し、翌年度の繰越収入超過額は 1,359 百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、第2号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では 259 百万円増加し、20,568 百万円となる一方、負債総額は借入金の返却等から 2,020 百万円と減少し、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ 403 百万円（2.2%）増の 18,549 百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成16年度～20年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・資金収支の状況
 - ・消費収支の状況
 - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録